

横浜市生活環境の保全等に関する条例に基づく
地下水採取の許可に係る申請書作成の手引き

令和7年12月

横浜市みどり環境局水・土壤環境課

申請にあたっての注意事項

(1) 本手引きについて

本手引きは、横浜市生活環境の保全等に関する条例(以下、「市条例」という)に基づく地下水採取許可申請書または地下水採取に係る変更許可申請書を作成するための手引き(参考例)です。地下水採取に係る規制内容等を知りたい場合は、別途パンフレット「地盤沈下と地下水～地下水採取規制の内容について～」をご覧ください。

(2) 申請書の作成について

本申請は地下水採取許可申請書または地下水採取に係る変更許可申請書の鑑と揚水施設の内容等を確認する添付資料により構成されています。作成にあたっては次ページのチェックシートにより、必要な書類が添付されていることを確認し提出してください。

(3) 提出について

当課への提出は1部となりますが、控えが必要な場合は2部作成してください。(押印のうえ1部返却します。)また、提出時は担当者が不在等の場合がありますので、事前にアポイントをとっていただけますと、お待たせせずにご案内ができます。

(4) 情報公開について

提出書類については、個人情報を除き原則として全て情報公開対象文書となります。

(5) 担当部署及び連絡先

横浜市みどり環境局 環境保全部 水・土壤環境課 土壤対策担当
〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地10
電話番号: 045-671-2494 ファクシミリ: 045-671-2809
電子メールアドレス: mk-dojo@city.yokohama.lg.jp

提出書類チェックシート

書類番号	書類名称・種類（記載事項の注意点）	チェック
	<p>地下水採取許可申請書（第27号様式（第61条第3項））</p> <ul style="list-style-type: none"> 様式は、本市ホームページからダウンロードできます。 URL : https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kankyo-koen-gesui/kiseishido/dojo/jiban/chikasui.html 申請書への代表者印は不要ですが、申請者側で必要であれば押印して頂いても構いません。 	<input type="checkbox"/>
①	<p>地下水の採取を行う場所の案内図</p> <ul style="list-style-type: none"> 地図等を複写して利用する場合、その発行・出版元の複製利用に関する条件を確認の上、複製利用に承諾が必要な場合は必ず承諾を得るようしてください。 	<input type="checkbox"/>
②	<p>揚水施設の配置状況図</p> <ul style="list-style-type: none"> 揚水施設の設置場所が確認できる図面を添付してください。 	<input type="checkbox"/>
③	<p>揚水施設の構造図及び井戸の水位測定基準面</p> <ul style="list-style-type: none"> 揚水施設全長、ストレーナ設置深度及び区間長、ケーシング管・揚水管・水位測定管の全長及び種類（例 VP150 や SGP100 など）、水中ポンプ設置深度、水位測定基準面を明示した図面を添付してください。 	<input type="checkbox"/>
④	<p>地下水の利用系統図</p> <ul style="list-style-type: none"> 地下水採取量、受水槽により貯水する水量、事業所内の用途別使用量及び下水道への流出量について、図化（フロー図）してください。 	<input type="checkbox"/>
⑤	<p>井戸の地質柱状図、揚水試験表等</p> <ul style="list-style-type: none"> 付近で試掘した際に作成した柱状図を添付してください。 揚水試験表等については揚水試験実施後に添付してください。 	<input type="checkbox"/>

《記入例》

第 27 号様式（第 61 条第 3 号）

(1)

地下水採取許可申請書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

(申請先)

横浜市長

申請者 住 所 横浜市西区〇〇町一丁目1-1

氏 名 株式会社〇〇〇〇工業

代表取締役 横浜 創造

(法人の場合は、名称及び代表者の氏名)

横浜市生活環境の保全等に関する条例第 72 条第 1 項の規定により地下水採取の許可を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

事業所の 名 称 等	名 称	株式会社〇〇〇〇工業 第一工場			法人名称ではなく 事業所の名称を記 載してください。
	所 在 地	横浜市中区〇〇町二丁目2-2			
	業 種	〇〇製造業	主要な生産品 目	〇〇〇	
地下水採取を行う場所	横浜市中区〇〇町二丁目2-2				
地下水採取開始予定年月日	令和〇年〇月〇日				
地下 水 採 取 予 定 量	80m ³ /日	揚水施設の数	1		
地下水採取の必要性及び他の水源をもって地下水に代えることが著しく困難である場合の理由	(例) 〇〇製造を行うにあたって、地下水を利用し たいため				井戸設置の施 工者ではなく揚 水施設を所有 している事業者 の担当者を記 載してください。
連絡先	総務部 総務課 環境対策係 担当者氏名 〇〇 〇〇 電話番号 045-123-4567 (内線) 直通				

書面申請で、許可書の電子交付を希望される場合は、

・許可書の電子交付を希望する旨

・交付先メールアドレス を連絡先欄に別途記載してください。

(A 4)

(2)

許可申請時における
予定の構造等を記載
してください。

地下水の揚水施設の構造等

井戸	井戸の名称又は番号	1号井戸	
	さく井年日	RO年O月O日	井戸の掘削予定日を記載してください。(申請日より30日後)
	深度(地表面下m)	120m	
	側管の口径(mm)	150mm	
	ストレーナの位置 (地表面下m)	104~116m	100mより深くなるよう設置してください。
揚水機	種類、名称及び型式	ABC社 40-200VZZ	2.2kW以下となるよう設置してください。(全揚程が50m以上深も場合には3.7kWまで可能です。)
	原動機の定格出力(kW)	2.2kW	
	吐出口の口径(mm)	40mm	
	吐出口の断面積(cm ²)	12.56cm ²	
	揚水能力(m ³ /h)(A)	20m ³ /h	
	1日平均使用時間(B)	4時間	
地下水の用途別使用予定量	揚水量(m ³ /日)(A×B)	80m ³ /日	設置する揚水機の断面積の合計が22cm ² 以下となるよう設置してください。
	ボイラ用(m ³ /日)	20m ³ /日	
	原 料 用(m ³ /日)	20m ³ /日	
	製 品 处 理 用(m ³ /日)		
	洗 净 用(m ³ /日)		
	冷 却 用(m ³ /日)	20m ³ /日	
	防 災 ・ 消 防 用(m ³ /日)		
	飲 料 用(m ³ /日)		
	農 業 用(m ³ /日)		
	散 水 用(m ³ /日)		
水量測定器	そ の 他(m ³ /日)	20m ³ /日	
	計(m ³ /日)	80m ³ /日	
水量測定器	種類、名称及び型式	縦型軸式羽根車式 RSK-40型	
	口 径(mm)	40mm	
	検定合格年月日	RO年O月O日	年 月 日
	使用開始(予定)年月日	RO年O月O日	年 月 日
水 温(℃)		18℃	

(A 4)

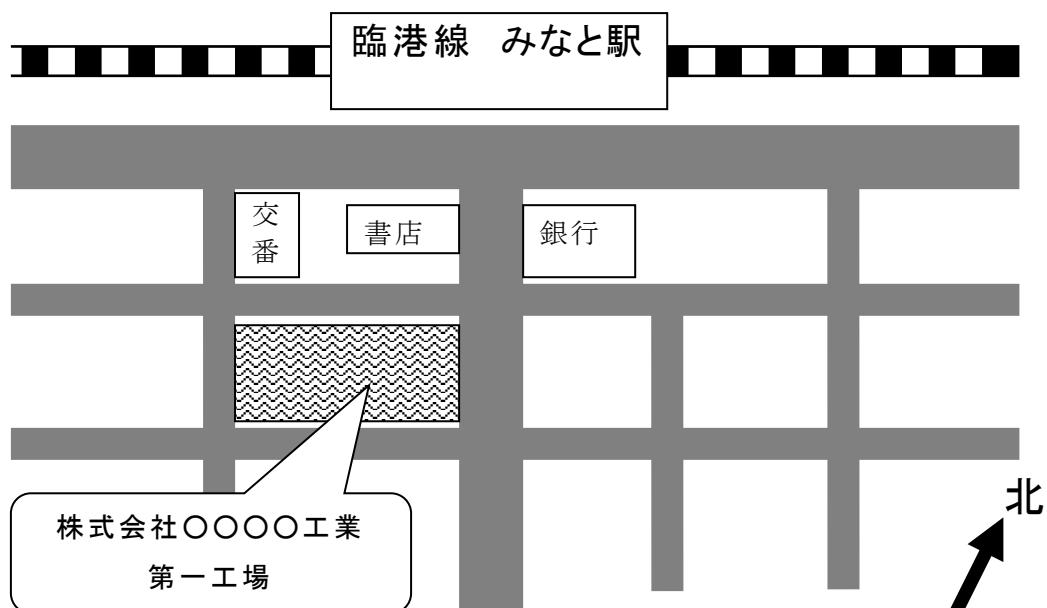
(3)

水源別 使用水量及びその割合					
水 源	水量(m ³ /日)	割合(%)	水 源	水量(m ³ /日)	割合(%)
工 業 用 水			海 水		
水 道 水	20m ³ ／日	20%	回 収 水	淡 水	
地 表 水				海 水	
地 下 水	80m ³ ／日	80%	そ の 他		
添 付 書 類	<input checked="" type="checkbox"/> 地下水の採取を行う場所の案内図（別図 1） <input checked="" type="checkbox"/> 揚水施設の配置状況図（別図 2） <input checked="" type="checkbox"/> 揚水施設の構造図（別図 3） <input checked="" type="checkbox"/> 地下水の利用系統図（別図 4） <input checked="" type="checkbox"/> 井戸の地質柱状図、揚水試験表等（別図 5） <input checked="" type="checkbox"/> 井戸の水位測定基準面図（別図 3）				

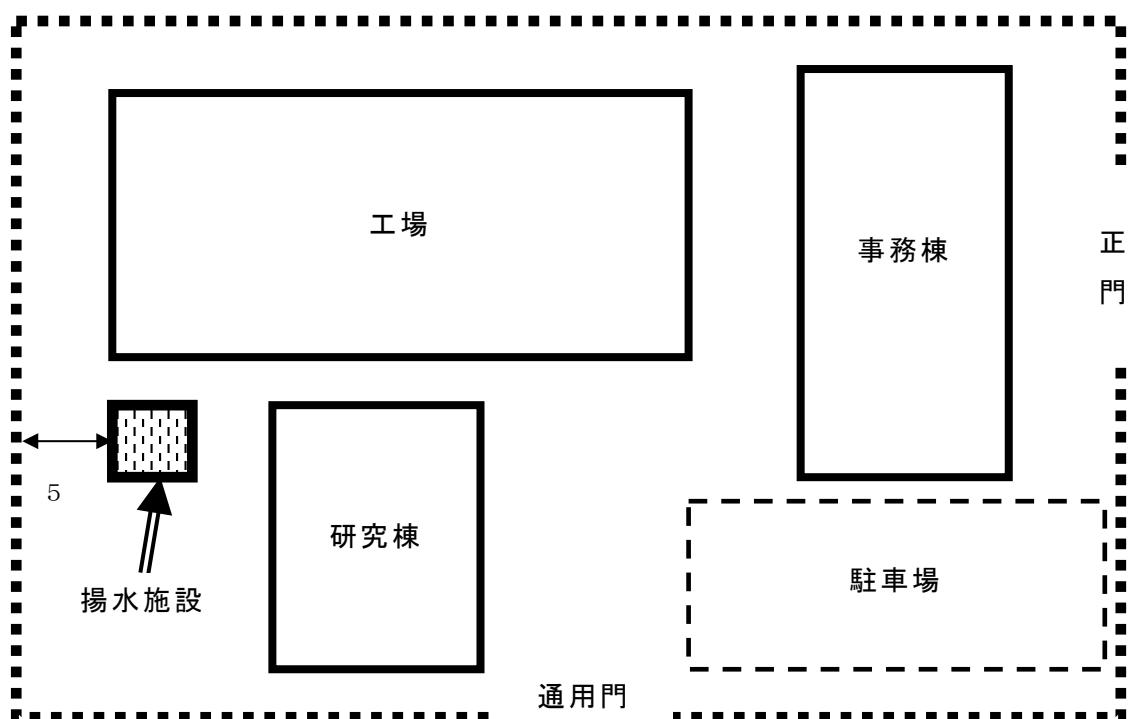
(注意) 添付書類の欄の□には、添付した書類を□内にレ印で記入してください。

(A 4)

別図1 案内図



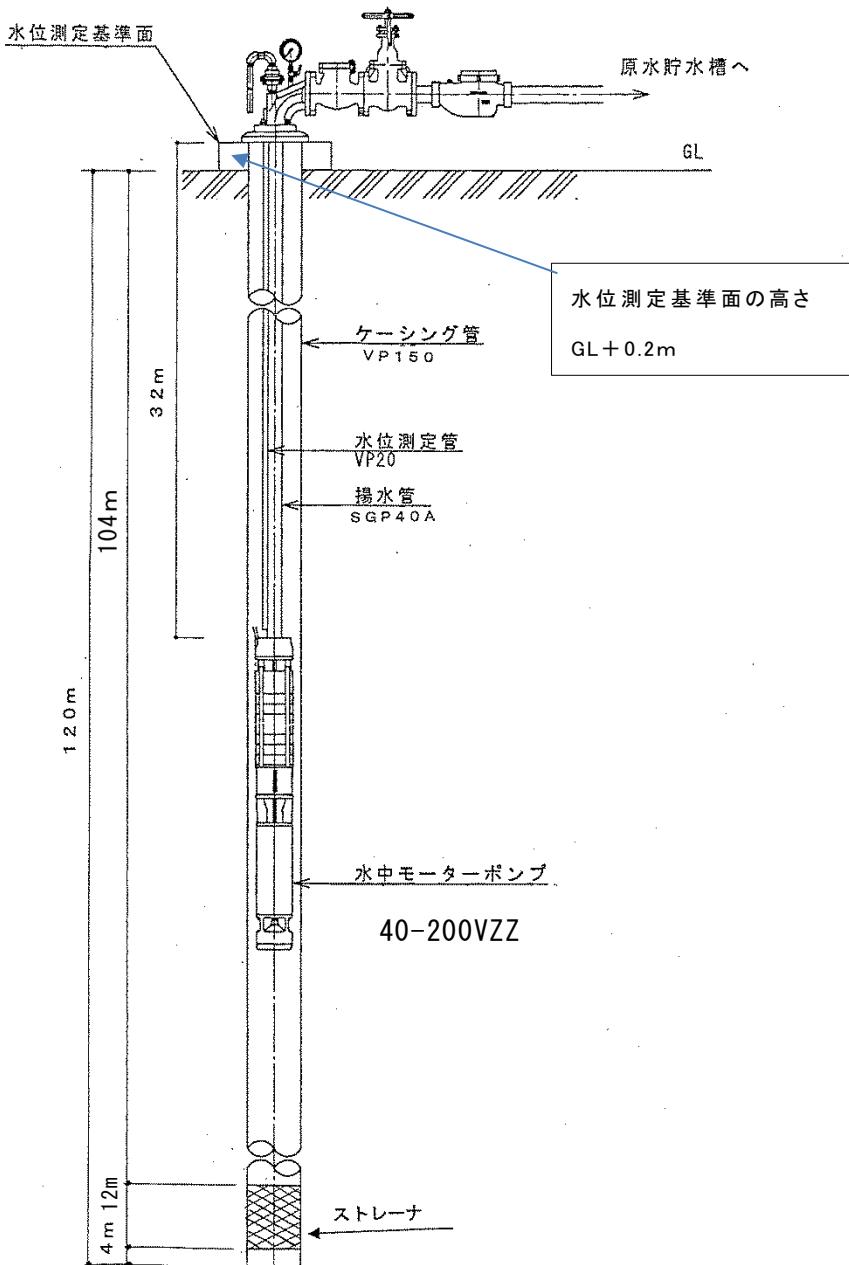
別図2 揚水施設の配置状況図



届出時のポイント

※ 揚水施設の設置位置は「民法第237条」において、「井戸、用水だめ、下水だめ又は肥料だめを掘るには境界線から二メートル以上、池、穴蔵又はし尿だめを掘るには境界線から一メートル以上の距離を保たなければならない。」と規定されていることを踏まえ、井戸の設置位置を決定してください。

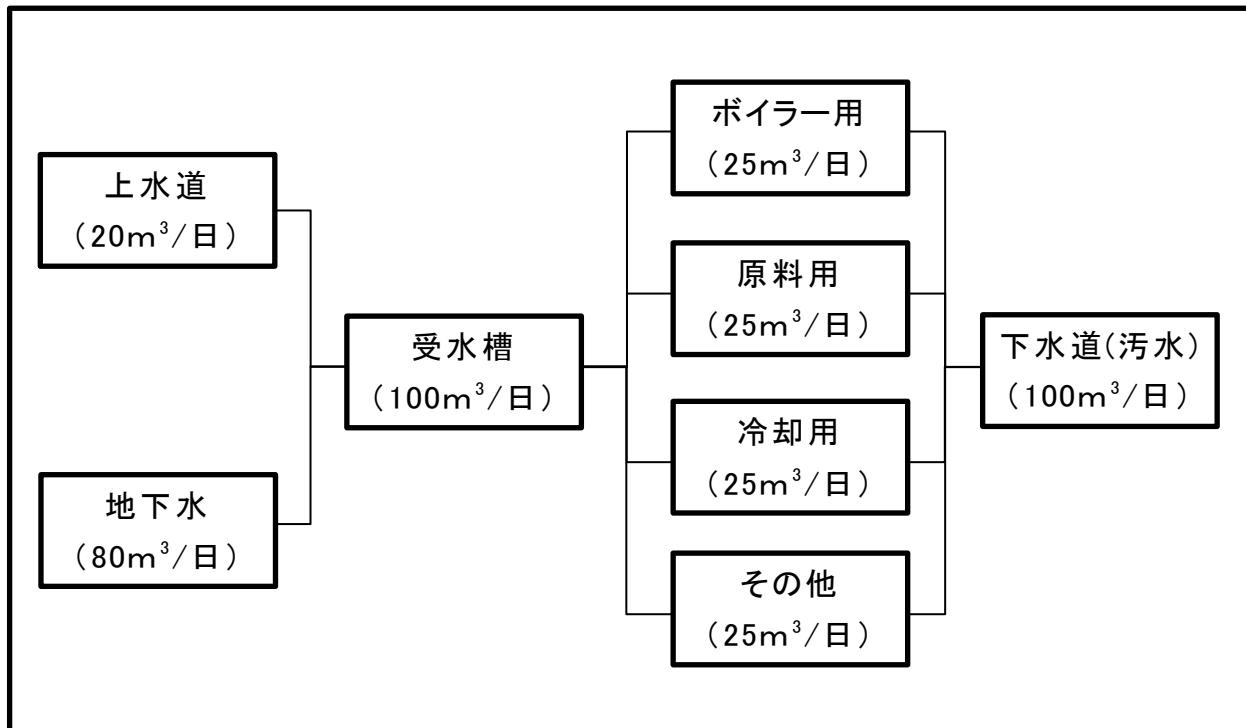
別図3 揚水施設の構造図及び水位測定基準面図



届出時のポイント

※ 水位測定基準面については現状の地盤(GL)からの高さを記載してください。

別図4 地下水の利用系統図



届出時のポイント

※1 使用前の水量と使用後の水量がイコールになるよう作成してください。

※2 使用した水を下水道へ流す場合は、「汚水」または「雨水」のどちらに流すのかわかるように記載してください。

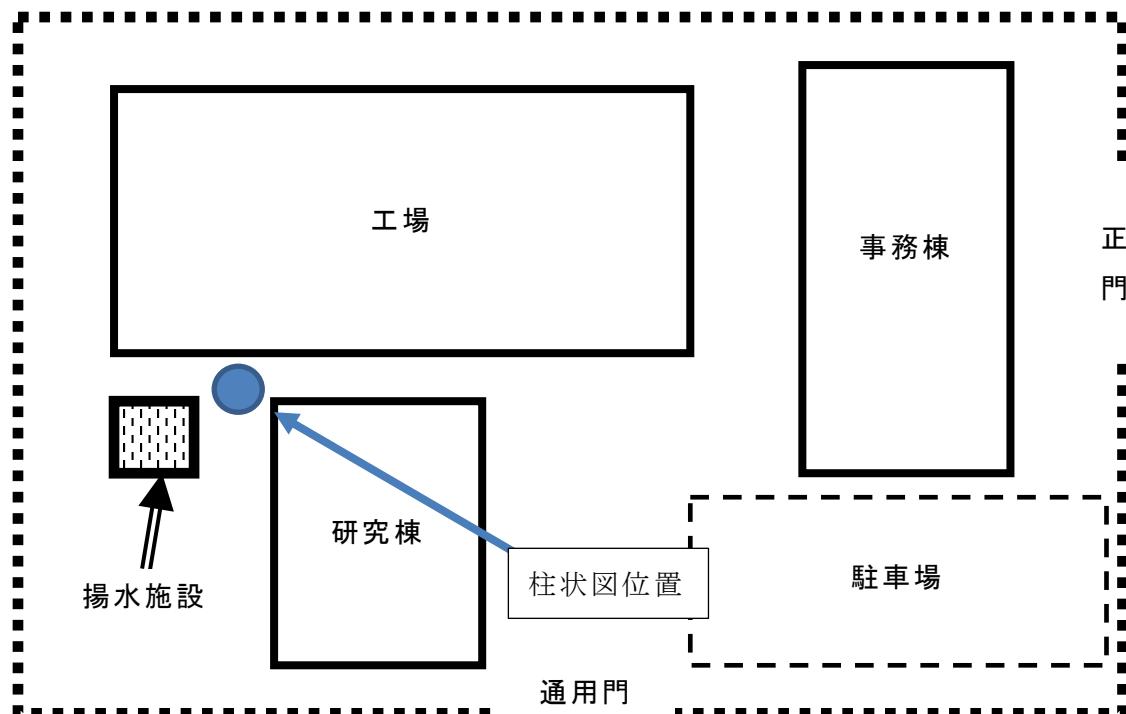
別図 5-1

井柱状図

ボーリングNo.

工事名 所・有者						工 期		緯度・経度						
施工位置 横浜市								地盤高		水温				
深 度		120.00 m		管 種		VP管								
管 径		φ 150 mm		スレーナ種類		丸穴型(カシメト巻)		適正揚水量		限界揚水量				
掘さく径		φ 310 mm		スレーナ長		16.00 m		適正揚水位		限界揚水位				
備 考						施工者								
標 尺 尺 度 (m)	深 度 (m)	さく井地質		標 本 水 番 号	井戸構造 管 管 長 (m)	井戸構造 構 位 (m)	井戸構造 造 図	標 尺 尺 (m)	孔内検層					
		層 厚 (m)	柱 状 質						地 色	記 調 事	比 抗 $\rho (Q-m)$	0.25m 0.50m 1.00m	自然電位 (2種法)	mV
1.50	1.50		埋土					31. 4.00 2.00						
3.50	2.00		粘土					30. 4.00 6.00						
15								29. 4.00 10.00						
23								28. 4.00 14.00						
35								27. 4.00 18.00						
45								26. 4.00 22.00						
55								25. 4.00 26.00						
65								24. 4.00 30.00						
75								23. 4.00 34.00						
85								22. 4.00 38.00						
95								21. 4.00 42.00						
105								20. 4.00 46.00						
115								19. 4.00 50.00						
125								18. 4.00 54.00						
135								17. 4.00 58.00						
145								16. 4.00 62.00						
155								15. 4.00 66.00						
165								14. 4.00 70.00						
175								13. 4.00 74.00						
185								12. 4.00 78.00						
195								11. 4.00 82.00						
205								10. 4.00 86.00						
215								9. 4.00 90.00						
225								8. 4.00 94.00						
235								7. 4.00 98.00						
245								6. 4.00 102.00						
255								5. 4.00 106.00						
265								4. 4.00 110.00						
275								3. 4.00 114.00						
285								2. 4.00 118.00						
295								1. 4.00 120.00						
305														

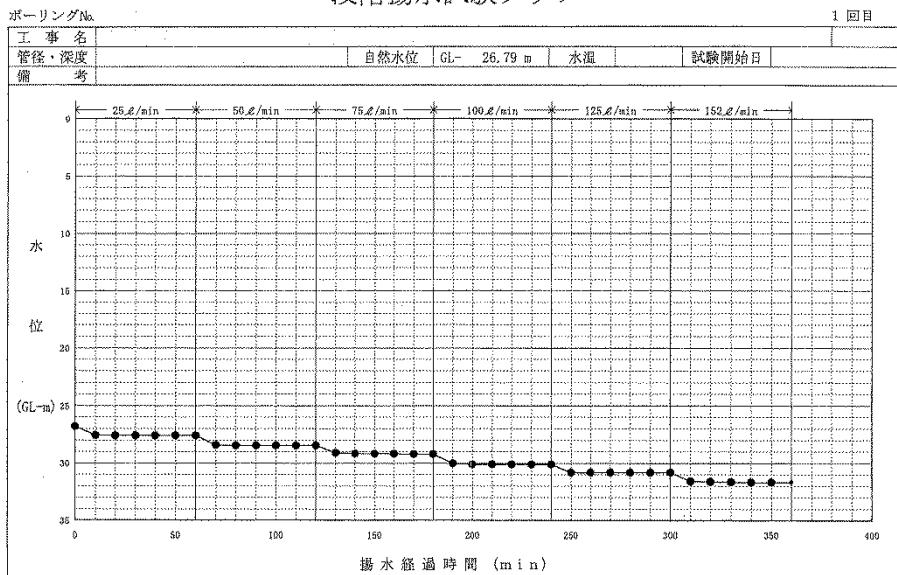
柱状図位置図



別図 5-2

段階揚水試験グラフ

1回目

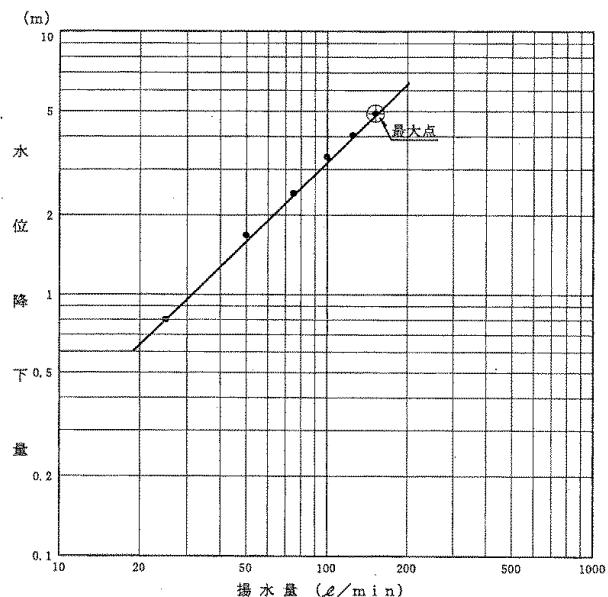


別図 5-3

段階揚水試験結果

ボーリングNo. []

工事名	年月日	自然水位	GL- 26.79 m
試験日		適正揚水位	
適正揚水量		限界揚水位	
限界揚水量		最大揚水位	
最大揚水量	152 l/min (218 m³/day)	最大揚水位	GL- 31.68 m
備考	適正揚水量の判定	限界揚水量の75%(揚砂を考慮)	水温

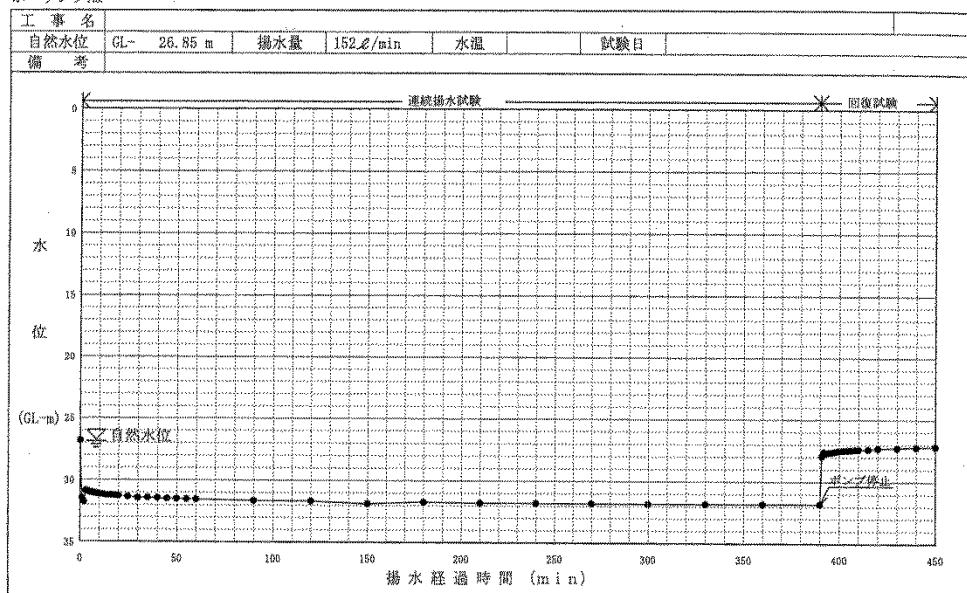


段階	揚水量 (l/min)	揚水量 (m³/day)	水位 (GL-m)	水位降下量 (m)	記事
1	25	36	27.59	0.80	第1段階
2	50	72	28.47	1.68	第2段階
3	75	108	29.22	2.43	第3段階
4	100	144	30.14	3.35	第4段階
5	125	180	30.84	4.05	第5段階
6	152	218	31.68	4.89	第6段階
7					
8					
9					
10					

別図 5-4

連続揚水試験・回復試験結果

ボーリングNo.



届出時のポイント

※ 地下水の採取量は、揚水試験(段階揚水試験、連続揚水試験等)に基づく適正揚水量(揚水試験により把握することができる、その井戸でくみ上げられる限界揚水量の70%の揚水量)により設定してください。

《記入例》

第28号様式（第63条第1項）

(1)

地下水採取に係る変更許可申請書

令和〇年〇月〇日

(申請先)

横浜市長

申請者 住 所 横浜市西区〇〇町一丁目

氏 名 株式会社〇〇〇〇工業

代表取締役 横浜 創造

(法人の場合は、名称及び代表者の氏名)

横浜市生活環境の保全等に関する条例第75条第1項の規定に
変更の許可を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

直近の許可を受けた
際の許可番号と年度
を記載してください。

事業所の 名 称 等	許可番号	環創水指令 第3号 (平成30年度)
	根 抛 等	<input type="checkbox"/> 条例第72条第1項 (年 月 日) <input checked="" type="checkbox"/> 条例附則第2項
	名 称	株式会社〇〇〇〇工業 第一工場
	所 在 地	横浜市中区〇〇町二丁目2-2
変更事項	<input type="checkbox"/> 揚水施設の数の変更 <input checked="" type="checkbox"/> 地下水の採取予定量の変更 <input type="checkbox"/> 揚水施設の位置の変更 <input type="checkbox"/> 地下水の用途の変更 <input type="checkbox"/> 揚水施設の構造の変更 (<input type="checkbox"/> 吐出口の断面積 <input type="checkbox"/> 揚水機の定格出力 <input type="checkbox"/> ストレーナーの位置)	
変更内容	変 更 前	地下水の採取予定量 : 80 m ³ /日
	変 更 後	地下水の採取予定量 : 100 m ³ /日
変 更 理 由	製品製造量の増加により地下水の使用量が増加したため	
変更完了予定年月日	令和〇年〇月〇日	
連絡先	総務部 総務課 環境対策係 担当者氏名 〇〇 〇〇 電話番号 045-123-4567 (内線) 直通	

(注意) □のある欄には、該当する□内に△印を記入してください。

書面申請で、許可書の電子交付を希望される場合は、

・許可書の電子交付を希望する旨

・交付先メールアドレス を連絡先欄に別途記載してください。

(A 4)

変更前

(2)

地下水の揚水施設の構造等				
変更許可申請の該当項目		既・変・増・廃	既・変・増・廃	既・変・増・廃
井戸	井戸の名称又は番号	1号井戸		
	さく井年月日	RO年O月O日	年 月 日	年 月 日
	深度(地表面下 m)	120m		
	側管の口径(mm)	150mm		
	ストレーナの位置 (地表面下 m)	104~116m	~ ~ ~	~ ~ ~
揚水機	種類、名称及び型式	ABC社 40-200VZZ		
	原動機の定格出力(kW)	2.2kW		
	吐出口の口径(mm)	40mm		
	吐出口の断面積(cm ²)	12.56cm ²		
	揚水能力(m ³ /h)(A)	20m ³ /h		
	1日平均使用時間(B)	4時間		
地下水の用途別使用予定量	揚水量(m ³ /日)(A×B)	80m ³ /日		
	ボイラ用(m ³ /日)	20m ³ /日		
	原料用(m ³ /日)	20m ³ /日		
	製品処理用(m ³ /日)			
	洗浄用(m ³ /日)			
	冷却用(m ³ /日)	20m ³ /日		
	防災・消防用(m ³ /日)			
	飲料用(m ³ /日)			
	農業用(m ³ /日)			
	散水用(m ³ /日)			
水量測定器	その他(m ³ /日)	20m ³ /日		
	計(m ³ /日)	80m ³ /日		
水量測定器	種類、名称及び型式	縦型軸式羽根車式 RSK-40型		
	口径(mm)	40mm		
	検定合格年月日	RO年O月O日	年 月 日	年 月 日
	使用開始(予定)年月日	RO年O月O日	年 月 日	年 月 日
水温(°C)		18°C		

(A 4)

変更後

(2)

地下水の揚水施設の構造等				
変更許可申請の該当項目		既・ 変 ・増・廃	既・変・増・廃	既・変・増・廃
井戸	井戸の名称又は番号	1号井戸		
	さく井年月日	RO年0月0日	年 月 日	年 月 日
	深度(地表面下 m)	120m		
	側管の口径(mm)	150mm		
揚水機	ストレーナの位置 (地表面下 m)	104~116m	変更後の構造については、 変更部分のみではなく全て の構造を記載してください。	
	種類、名称及び型式	ABC社 40-200VZZ		
	原動機の定格出力(kW)	2.2kW		
	吐出口の口径(mm)	40mm		
	吐出口の断面積(cm ²)	12.56cm ²		
	揚水能力(m ³ /h)(A)	20m ³ /h		
地下水の 用途別 使用 予定 量	1日平均使用時間(B)	5時間		
	揚水量(m ³ /日)(A×B)	100m ³ /日		
	ボイラー用(m ³ /日)	20m ³ /日		
	原料用(m ³ /日)	40m ³ /日		
	製品処理用(m ³ /日)			
	洗浄用(m ³ /日)			
	冷却用(m ³ /日)	20m ³ /日		
	防災・消防用(m ³ /日)			
	飲料用(m ³ /日)			
	農業用(m ³ /日)			
水量測定器	散水用(m ³ /日)			
	その他(m ³ /日)	20m ³ /日		
	計(m ³ /日)	100m ³ /日		
	種類、名称及び型式	縦型軸式羽根車式 RSK-40型		
	口径(mm)	40mm		
	検定合格年月日	RO年0月0日	年 月 日	年 月 日
	使用開始(予定)年月日	RO年0月0日	年 月 日	年 月 日
	水温(°C)	18°C		

(A 4)

(3)

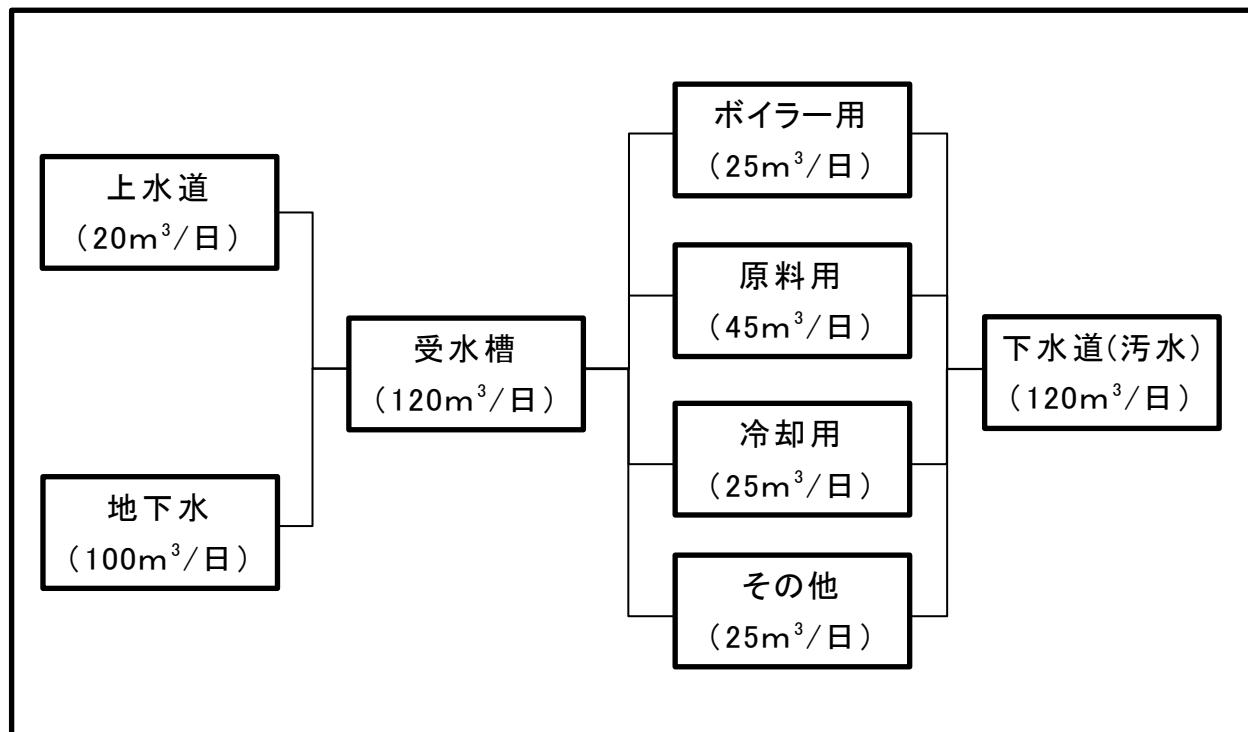
水源別使用水量及びその割合					
水 源	水量 (m ³ / 日)	割合 (%)	水 源	水量 (m ³ / 日)	割合 (%)
工 業 用 水			海 水		
水 道 水	20m ³ / 日	17%	回 收 水	淡 水	
地 表 水				海 水	
地 下 水	100m ³ / 日	83%	そ の 他		
変更に係る 添 付 書 類	<input type="checkbox"/> 地下水の採取を行う場所の案内図 <input type="checkbox"/> 揚水施設の配置状況図 <input type="checkbox"/> 揚水施設の構造図 <input checked="" type="checkbox"/> 地下水の利用系統図 <input type="checkbox"/> 井戸の地質柱状図、揚水試験表等 <input type="checkbox"/> 井戸の水位測定基準面図				

(注意) 1 「既」とは既に設置されている揚水施設のうち、本申請に際して変更のないものを、「変」とは本申請に際して変更するものを、「増」とは本申請に際して揚水施設を増設するものを、「廃」とは本申請に際して揚水施設の廃止をするものをいいます。

2 変更に係る添付書類の欄の□には、当該変更に係る添付した書類を□内に印で記入してください。

(A 4)

地下水の利用系統図



問い合わせ先

横浜市 みどり環境局 環境保全部 水・土壤環境課 土壤対策担当

〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10 (市庁舎 27階)

TEL: 045-671-2494 FAX: 045-671-2809

E-mail: mk-dojo@city.yokohama.lg.jp